

NIHの研究助成決定にあたり、人種偏見はないとする研究論文が発表 (2月1日)

国立衛生研究所 (National Institutes of Health : NIH) の研究助成決定にあたり、黒人研究者は白人研究者と比較して助成受給率が 10%低く人種偏見があるとする論文が、カンザス大学 (University of Kansas) 経済学教授のドナ・ギンザー氏 (Donna Ginther) によって 2011 年に発表されて以来、NIH のフランシス・コリンズ長官 (Francis Collins) は、作業部会を編成してこの問題に取り組み、2012 年 12 月には、同作業部会の提言を受けて、マイノリティ大学生に対する助成金支給や指導を行う 10 年間総額 5 億ドルのイニシアティブの実施を打ち出した。

これに対して、バージニア工科大学・ウェイクフォレスト大学生体工学科学大学院 (Virginia Tech-Wake Forest University School of Biomedical Engineering and Sciences) の元教授で、現在はレンセラー工科大学 (Rensselaer Polytechnic Institute) 教授のジー・ワン氏 (Ge Wang) を中心とするグループは、「学術論文と NIH 助成の計量書誌学的分析 (A bibliometric analysis of academic publication and NIH funding)」と題する研究論文を発表し、ギンザー氏の指摘するような人種偏見はなかったと反論している。

ワン氏らは、①米国の著名医学大学院 92 校に勤務する臨床科学及び基礎科学研究者の中から黒人研究者 40 人を無作為に抽出し、性別・学位・役職・専門分野・大学において相応する白人研究者 80 人と比較したところ、黒人研究者の実績の方が低かったことと、②NIH による研究費助成を受けている黒人研究者 11 人と、研究実績が同等の白人研究者 11 人とを比較したところ、助成受給研究事業数、助成総額共に黒人研究者の方が上回っていたことを明らかにし、NIH の審査にあたり際立った人種偏見は見られないと結論付けている。

なお、ワン氏らが発表した論文は、

<http://www.sciencedirect.com/science?_ob=ShoppingCartURL&_method=add&_eid=1-s2.0-S175115771200096X&_acct=C000228598&_version=1&_userid=10&_ts=1359991760&md5=d29dcf40b585fc64660c5a91abebc3ea>から購入可能。

Nature Publishing Group, Study disputes racial bias in NIH grant-making

<http://blogs.nature.com/news/2013/02/study-disputes-racial-bias-in-nih-grant-making.html>